



「教育力の向上」、そして「持続可能な学校づくり」  
何より『教職員一人ひとりの生活を豊かにする』ために

通信の  
趣旨

学校・教職員への働き方改革の  
きっかけとなる内容を発信していきます！

## 1 プランの目的！！

業務の適正化と質的変換による『教育力の向上』と『持続可能な学校づくり』

## 2 プランの目標！！

令和5年度までに、1か月当たりの時間外在校等時間（平均）を令和2年度比  
「25%以上」削減！！

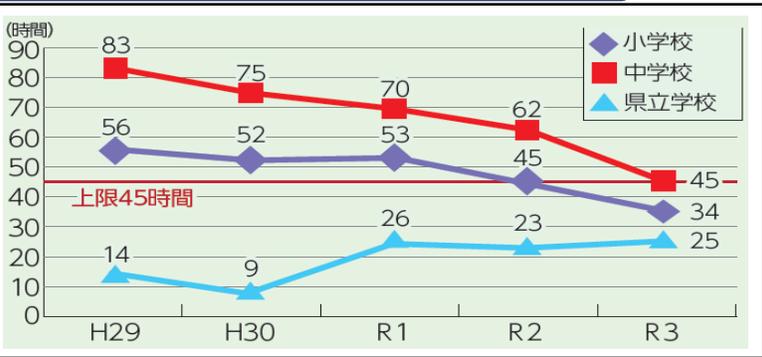
## 3 プランの現状・成果！

『とくしまの学校における働き方改革プラン』

関連ページ



【小】 約24%▼  
【中】 約27%▼  
【県立】 約9%△  
(R3年度/R2年度比)



1か月当たりの平均時間外在校等時間の推移 (H29～R3)

## 4 なぜ減らすのか！？

「教職員の心身の健康及び福祉のため」に給特法(※)に基づいて  
「指針」が定められています。



- ① 1か月の時間外在校等時間について、**45時間以内**
- ② 1年間の時間外在校等時間について、**360時間以内**

※公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法

## 学校現場における取組の改善のために

第1回働き方改革推進チーム会議を開催しました！



### 取組の柱《1》タイムマネジメントの徹底

- 出退勤管理システムに毎日入力することによって、**見える化**ができたことが  
すごく大きい。[小中:教頭]
- 職員間の声かけ、管理職による面談を行っている。[高、特支:教頭]
- ノー残業デーを設定**し、優先順位をつけ効率的に仕事に取り組む。[中:教諭]
- 学校全体で**明確な目標(スクール・ミッション)**を持って取り組んで  
いくことが必要。[小、高:教諭]

### 取組の柱《2》業務改善の更なる促進

#### 働き方改革Q & A



Q 新型コロナウイルス感染症対策も3年目。  
学校行事等が元に戻りつつあり、時間外在校等時間  
は減少しているのに、以前より負担を感じませんか？

A 2年間、学校行事が削減・縮減されてきました。  
行事を経験していない児童生徒や教職員もいます。  
児童生徒のためにと、元のイメージを追求するあまり  
教職員の負担も増える現状にあります。  
各種行事の**教育的観点**を十分に踏まえつつ、**今後も  
精選や内容・準備の見直し・簡素化を促進し、保護者の  
理解を得ていくことが重要です。**

